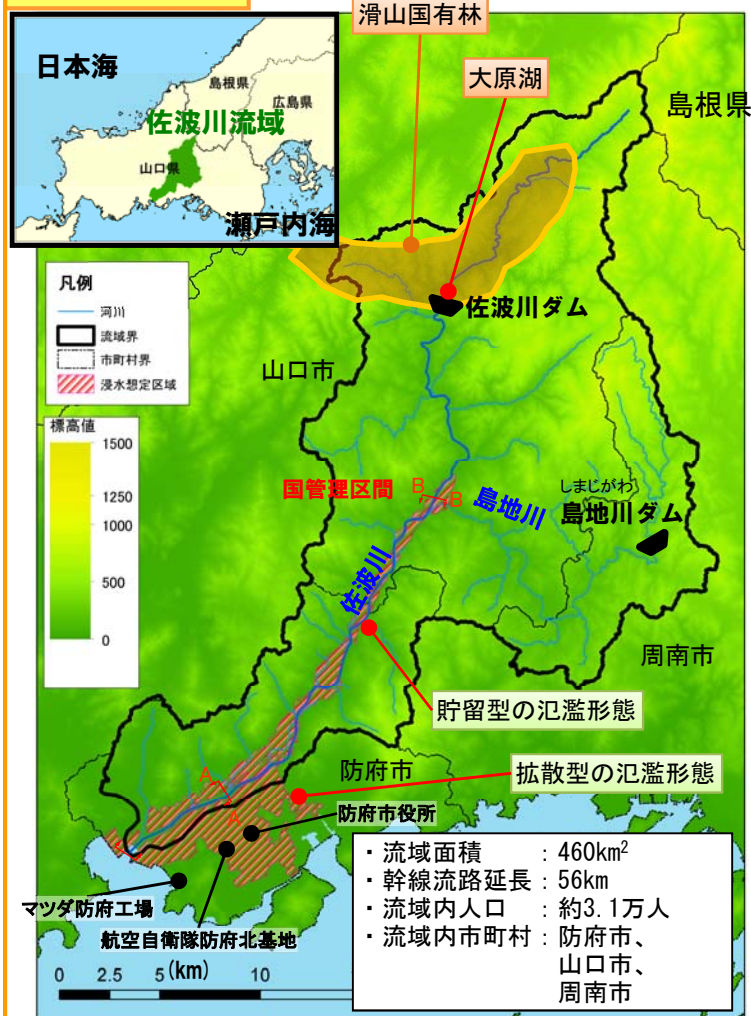


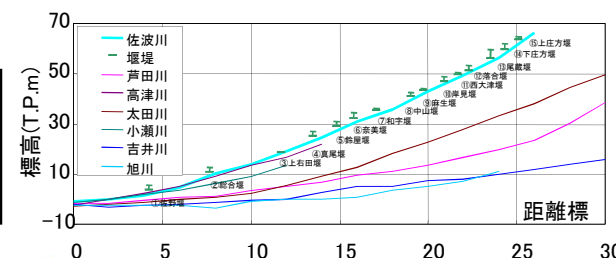
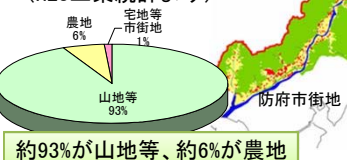
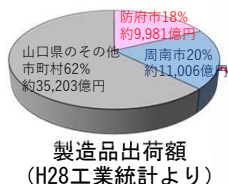
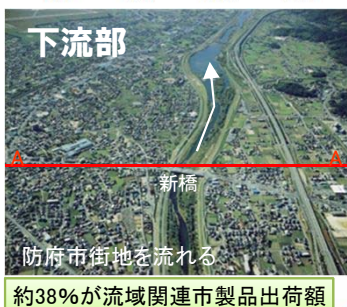
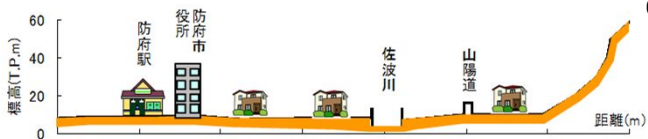
佐波川流域の概要

佐波川流域治水協議会
令和2年9月

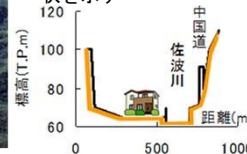
- 佐波川流域図



- 流域の土地利用は、山地等が93%、農地が6%、宅地等市街地が1%
- 市街地は、下流の防府市内に集中
- 河床勾配は上流で1/300程度で急勾配
- 取水堰が15基存在し、河積阻害要因となっている。

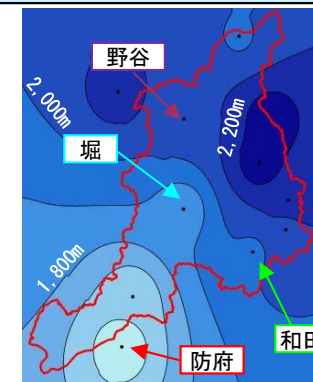
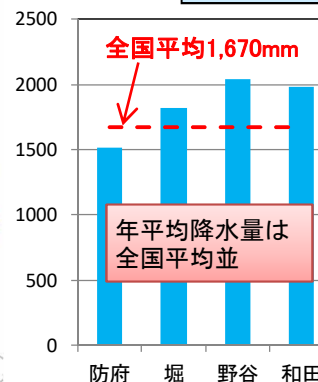


- ・上流部は、背後に山地が迫り、沿川の平野部で農地や家屋が点在する
- ・氾濫区域は、貯留型の形状を示す



降雨特性

- 降雨特性**
- ・ 下流域は瀬戸内海型気候、上流域は日本海型気候に属している
 - ・ 流域内の年平均降水量は、全国平均程度
- 年平均降水量 (mm)



(過去10年(H21～30)の年平均降水量データの平均を使用)

佐波川における主な既往洪水

佐波川流域治水協議会
令和2年9月

佐波川における主な既往洪水

過去の主な洪水

T7. 7洪水（台風）

佐波郡、防府市南部が浸水

推定流量：3,500m³/s

家屋浸水：3,451戸、冠水面積：不明

S16洪水

推定流量：2,404m³/s

家屋浸水：不明

S17洪水

推定流量：1,744m³/s

家屋浸水：4,837戸

S26. 7洪水（梅雨前線）

戦後最大の出水、堤防決壊17箇所

推定流量：2,438m³/s

家屋浸水：4,023戸、冠水面積：2,758ha

S35. 7洪水（梅雨前線）

推定流量：1,807m³/s

家屋浸水：66戸、冠水面積：61ha

S47. 7洪水（梅雨前線）

推定流量：1,905m³/s

家屋浸水：73戸、冠水面積：61ha

H21. 7中国・九州北部豪雨（梅雨前線）

新橋地点流量：1,900m³/s

家屋浸水：113戸、冠水面積：144ha

主な洪水被害

昭和26年7月洪水

（戦後最大の洪水）



徳地町堀・堀小学校付近



徳地町堀・堀島地川鉄橋付近

昭和47年7月洪水

（戦後第2位の洪水）



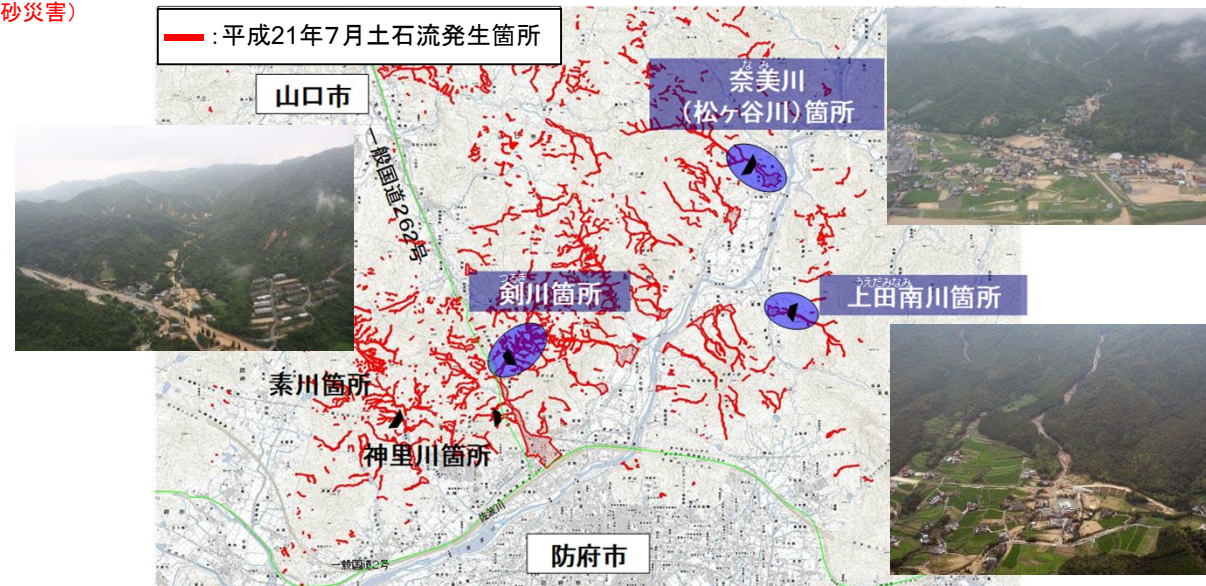
徳地町麻生・麻生頭首工



防府市和字付近

平成21年7月洪水（土砂災害）

（戦後最大の土砂災害）

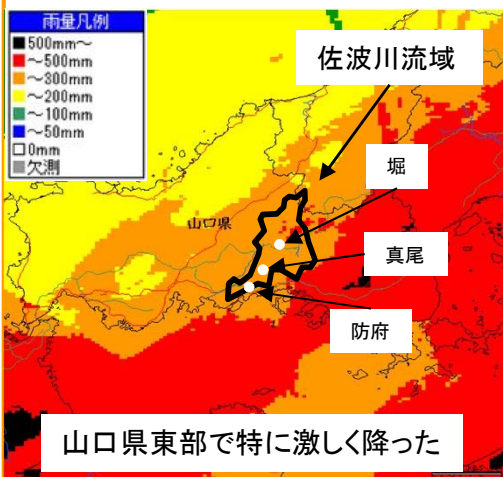


○古くより水害が頻発し、近年も水害が発生している。
○中・下流に人口資産が集中しているため治水対策はきわめて重要である。

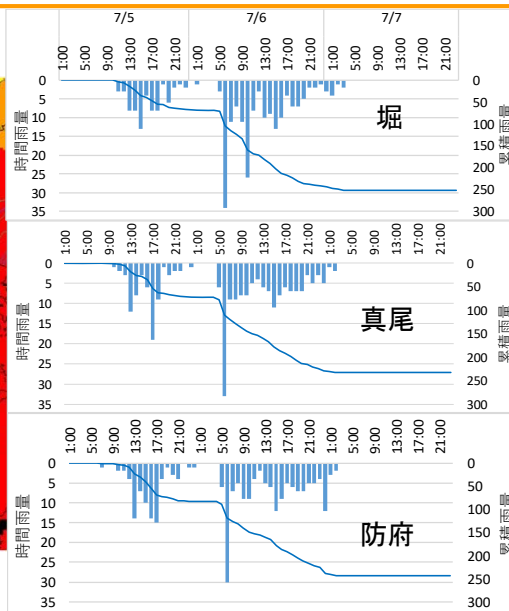
H30.7豪雨による洪水の状況

- 佐波川流域では停滞した低気圧により総雨量250mm程度を記録し、時間雨量は最大で、7月6日6:00の34mm(堀観測地点)である。
- 佐波川の基準観測所である漆尾地点では7月6日17時ごろ水位がピークに到達し、避難判断水位を6時間(7月6日14:00～20:00)超過した。

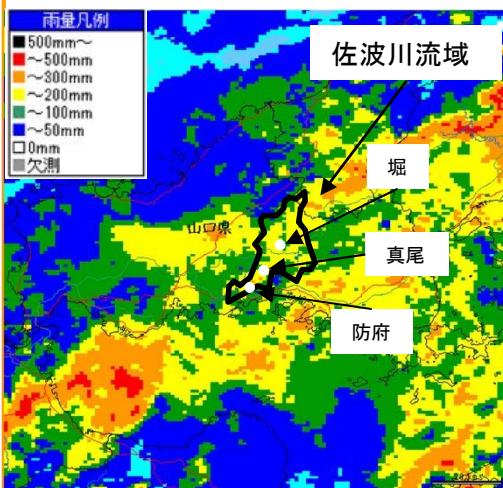
雨量



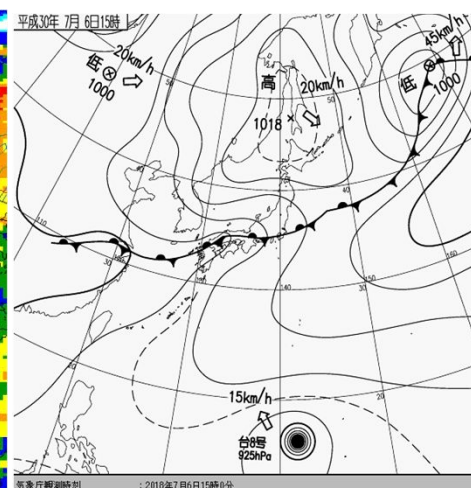
累積雨量分布(7月5日1時～8日0時)



時間・累積雨量グラフ(7月5日1時～8日0時)



雨量分布(平成30年7月6日15時)



天気図(平成30年7月6日15時)

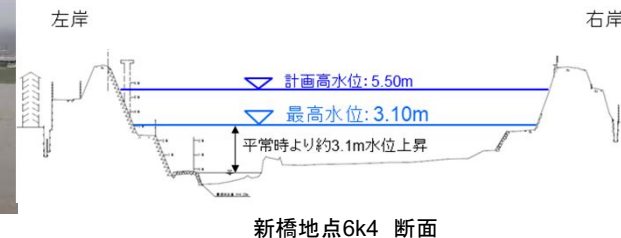
水位

佐波川基準観測所

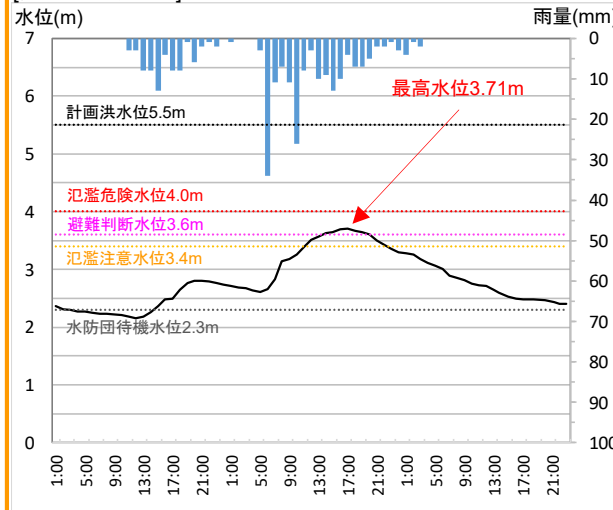
観測所名	水防団待機水位(m)	氾濫注意水位(m)	避難判断水位(m)	氾濫危険水位(m)	計画高水位(m)	最高水位		H21年7月洪水	
						月日時	水位(m)	年月日	水位(m)
新橋	2.70	3.40	4.20	4.60	5.50	7/6 18時	3.10	H21.7.21	3.56
漆尾	2.30	3.40	3.60	4.00	5.50	7/6 17時	3.64	H21.7.21	4.50
堀	2.00	3.00	3.90	4.30	5.60	7/6 16時	2.97	H21.7.21	3.67



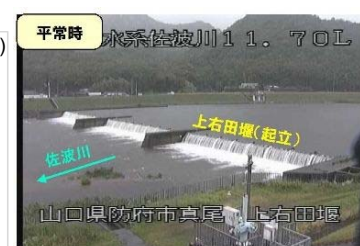
新橋 7月6日16時撮影



[漆尾水位観測所]



漆尾地点の水位変化



上右田堰の出水状況

佐波川水系流域治水プロジェクト

佐波川流域治水協議会
令和2年9月

佐波川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（令和2年9月17日時点）】

～幸せますのまちの母なる川と共存を目指した流域治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、佐波川水系においても流域全体で事前防災対策を進めることとし、以下の取り組みを実施していく。国管理区間の下流区間においては、堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和26年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

■河川における対策

対策内容 河道掘削、堤防整備、支川処理
橋梁架替 固定堰の改築、防潮堤 等

■ソフト対策

- ・土のう等の備蓄資材の配備
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を掲載したハザードマップの配布及び住民説明会の実施
- ・タイムラインに基づく情報伝達訓練の実施 等

※今後関係機関と連携し、対応検討

■流域における対策

- ・下水道等の排水施設の整備
- ・雨水流出抑制施設設置補助制度の利用促進
- ・既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
(関係者：国、山口県) 等

※今後関係機関と連携し、対応検討

【位置図】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

河川整備計画に基づく事業促進

国・県それぞれの管理区間において河川整備計画に基づき事業を実施。

5. 河川整備の実施に関する事項

～河川工事の目的、種類、施行の場所、並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要～

佐波川水系河川整備計画

【国管理区間】

平成 26 年 5 月

国土交通省中国地方整備局

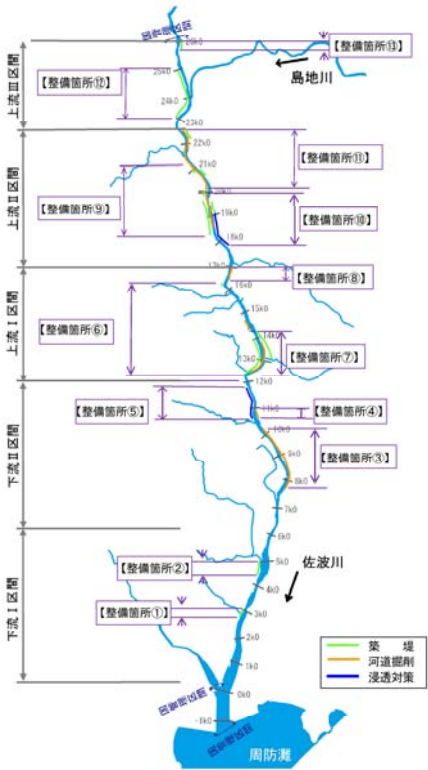


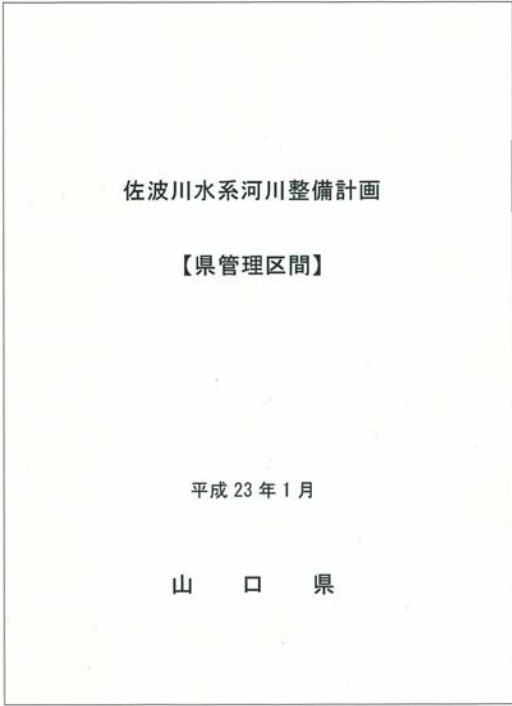
図5.1.2 堤防・河道の整備を実施する箇所

佐波川水系河川整備計画

【県管理区間】

平成 23 年 1 月

山 口 県



3.1.3 横曽根川の高潮対策

(1) 目的

横曽根川の高潮対策は、平成 11 年 18 号台風が横曽根川にとって最も危険となるルートを通じた場合に想定される高潮位に対して、高潮堤岸を整備し、浸水を防止あるいは軽減します。

(2) 場所

表 3.1.2 高潮対策の整備場所

河川名	施工区間	施工延長	計画堤防高 (T.P.m)	実施内容
横曽根川	J R 山陽本線橋梁～ 国道横曽根橋下流より約 290m	約 970m	5.00～4.50	高潮堤防整備

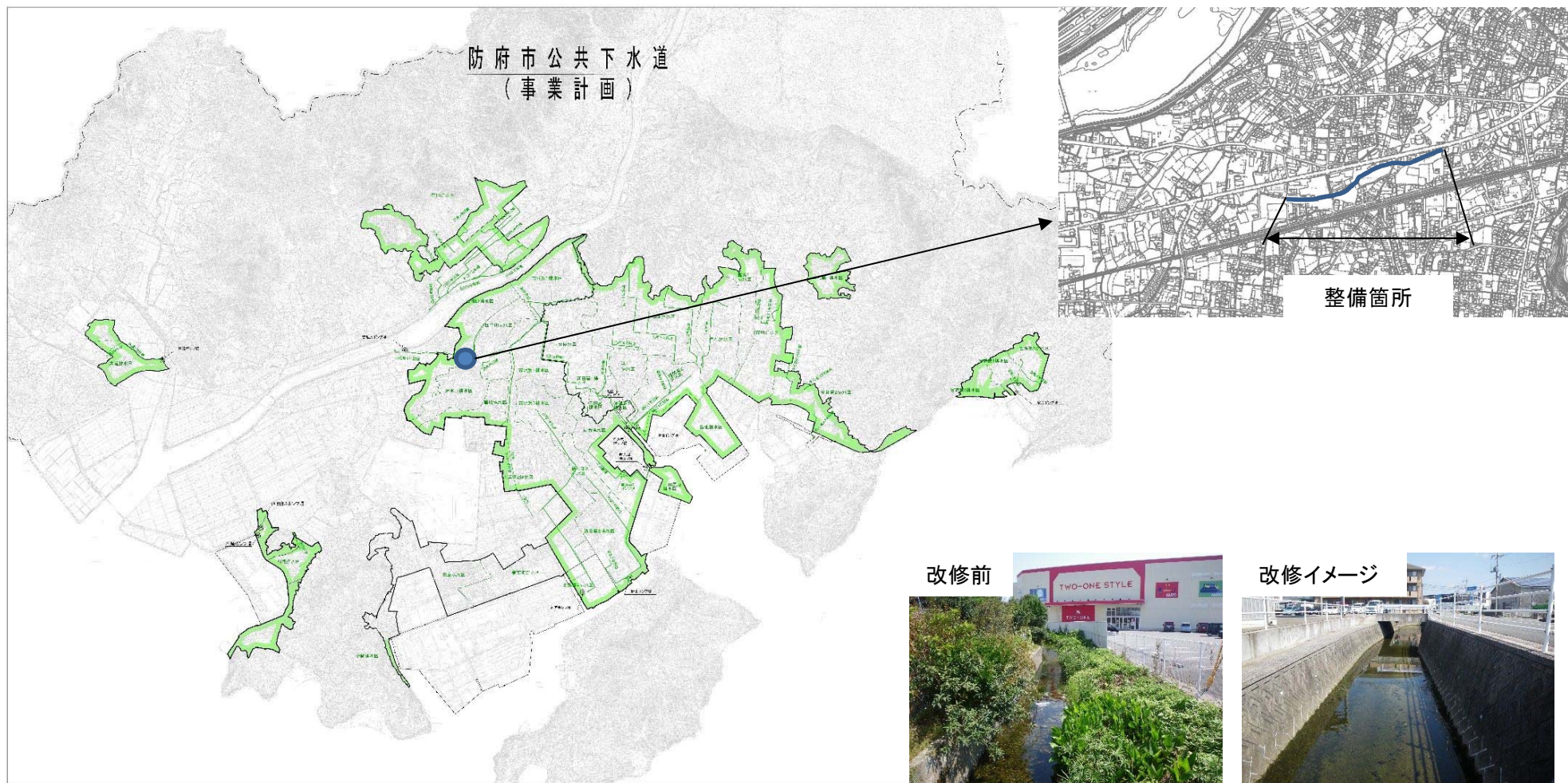
注) T.P. : 東京湾中等潮位 (2000 年以前の測地結果による表示)



図 3.1.5 高潮対策区間

■下水道等の排水施設の整備

防府市公共下水道事業計画に基づき排水路の整備を促進



■雨水流出抑制施設設置補助制度の利用促進

浸水被害の軽減を図ることを目的に雨水の流出を抑制する対策の利用促進を実施。


山口市
 Yamaguchi City Website

文字サイズ 拡大 標準 背景色 白 黒 青 読み上げる

はじめての方へ サイトマップ Foreign Language 山口市防災メール

防災情報 休日当番医情報

ホーム 暮らしの情報 しごとの情報 観光情報 市政情報

検索コーナー Google Custom Search 検索 組織でさがす カレンダーでさがす 地図でさがす

現在地 トップページ > 分類でさがす > 暮らしの情報 > 上下水道、簡易水道 > 下水道 > 山口市雨水流出抑制施設補助制度

山口市雨水流出抑制施設補助制度

印刷用ページを表示する 掲載日：2020年4月1日更新 Tweet

令和2年度の補助金申請の受付を4月1日から開始しました。近年、局地的な集中豪雨が増加する中、都市化の進展に伴い、降雨時には一度にたくさんの雨水が水路や河川へ流れ出るようになり、浸水被害が発生しています。

山口市では、浸水被害の軽減を図るため、雨水を貯めたり地下に浸透させることで雨水の流出を抑制する取り組みを進めており、各家庭において、雨水貯留タンクや雨水浸透ますを設置される方を対象にその経費の一部を補助しています。

※雨水貯留タンクに貯めた雨水は庭木の水やりなどに利用できます。また、雨が降る前には水を抜いて貯められるようご協力をお願いします。



山口市雨水流出抑制施設設置補助制度

ご家庭でできる浸水対策にご協力ください

雨水貯留槽（雨水貯留タンク）や、雨水浸透ますの設置費を補助します

花壇の水やりに役立ててもらいます。

浄化槽等転用雨水貯留槽
（既存の浄化槽等）
使わなくなった浄化槽等を雨水貯留タンクとして利用できます。

雨水貯留槽
（雨水貯留タンク）
屋根に落ちた雨を貯めるものです。貯めた雨水は庭木の水やりなどに利用できます。

雨水浸透ます
（雨水浸透ます）
屋根に落ちた雨を地面へしみこませるものです。地面にしみこんだ雨水は地下水になります。

雨水貯留槽・浄化槽等転用雨水貯留槽は、雨が降る前に水を抜いて貯められるようにしなければ浸水対策効果が得られませんのでご協力をお願いします。

見つからないときは

よくある質問

アンケート実施中

■既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築

- ◆ 緊急時において利水ダムを含む既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針（令和元年12月）」
- ◆ 中国地方の一級水系では**全ての既存ダム（102ダム）**を対象に**治水協定を令和2年5月29日までに締結**
- ◆ 令和2年の出水期から新たな運用を開始。

【現状と課題】

- ・全国の稼働中のダム1,460箇所
- ・有効貯水容量は約180億m3
- ・洪水調節のための貯水容量は約3割（約54億m3）
- ・利水容量の洪水調節への活用が今後の課題

水系	ダム数	有効貯水容量 (百万m3)	利水容量 (百万m3)	洪水調節容量 (百万m3)
1級	947	15,097	10,602	4,495
2級	513	2,967	2,068	899
合計	1,460	18,064	12,670	5,394 《0.3》

《 》：有効貯水容量に占める割合

【現在の状況】

(1) 治水協定の締結

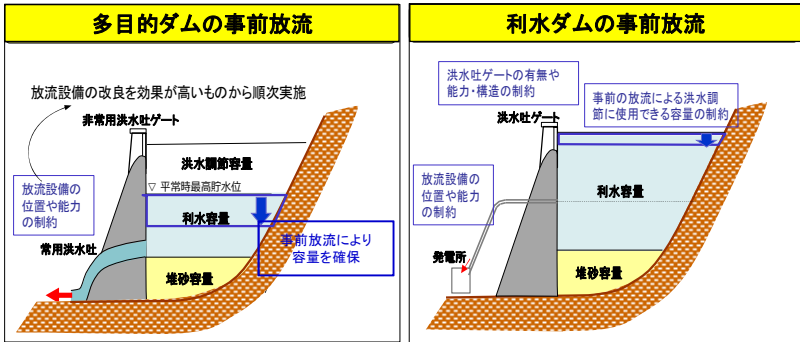
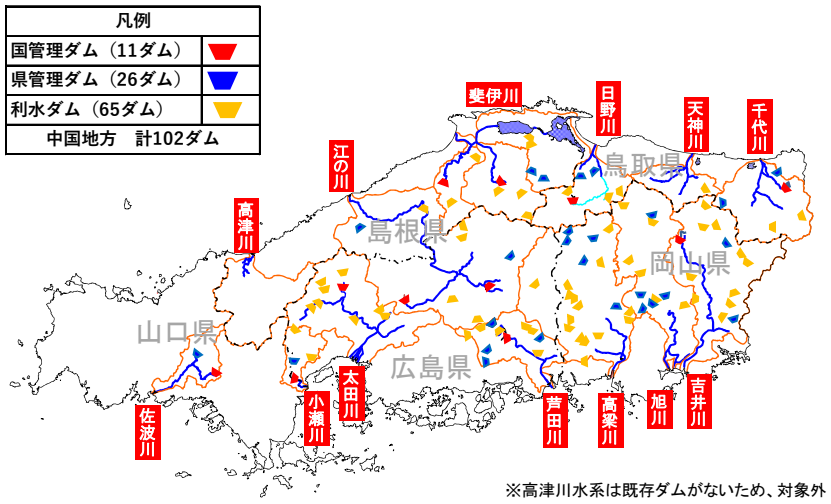
管内12の一級水系を対象に、水系毎に事前放流の実施方針等を定めた治水協定を5月29日に締結。

(2) 河川管理者とダム管理者との間の情報網の整備

各ダムのリアルタイムデータを国土交通省（地方整備局等）に集約し、適宜関係者間で共有。

(3) 工程表の作成

ソフト対策及びハード対策（放流施設の増強等）を有効に組み合わせた工程表を、水系毎に作成済み。

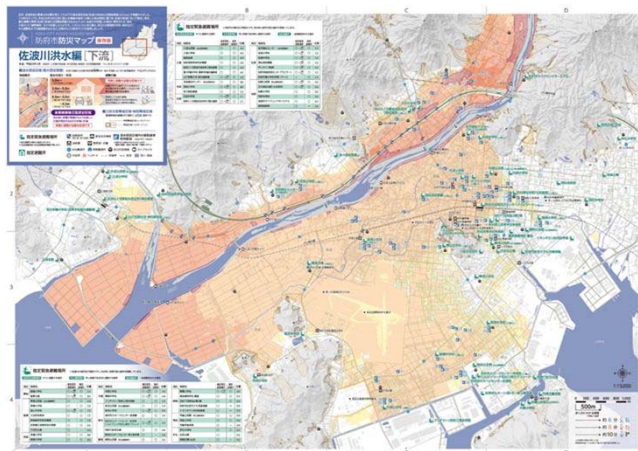


土のう等の水防備蓄資材を配備し、浸水に備える対策を実施。

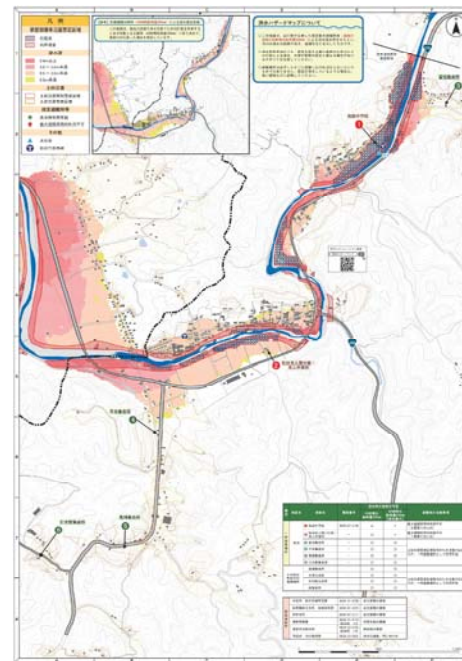


■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を掲載したハザードマップの配布及び住民説明会の実施

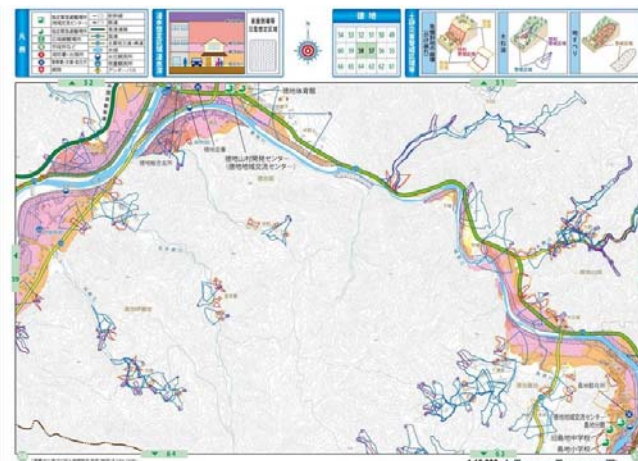
浸水想定区域図に基づきハザードマップを作成。適宜住民説明会を実施。



防府市ハザードマップ



周南市ハザードマップ



山口市ハザードマップ

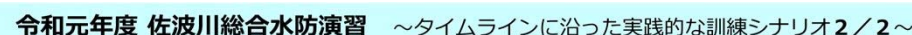


住民説明会の状況



水防技術の向上・継承に努めるとともに、平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、関係機関及び地域住民の参加のもと、行政・住民・企業等の各主体が水害リスクに関する知識と心構えを共有し、水害による被害の軽減を図ることを目的として、水防工法訓練・情報伝達訓練・救出救護訓練等を中心とした実践的な訓練を実施。

令和元年度 佐波川総合水防演習 ～タイムラインに沿った実践的な訓練シナリオ1/2～



佐波川水系流域治水プロジェクト

佐波川流域治水協議会
令和2年9月

佐波川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】

～幸せますのまちの母なる川と共存を目指した流域治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、佐波川水系においても流域全体で事前防災対策を進めることとし、以下の取り組みを実施していく。国管理区間の下流区間においては、堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和26年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

■河川における対策

対策内容 河道掘削、堤防整備、支川処理
橋梁架替 固定堰の改築、防潮堤 等

■ソフト対策

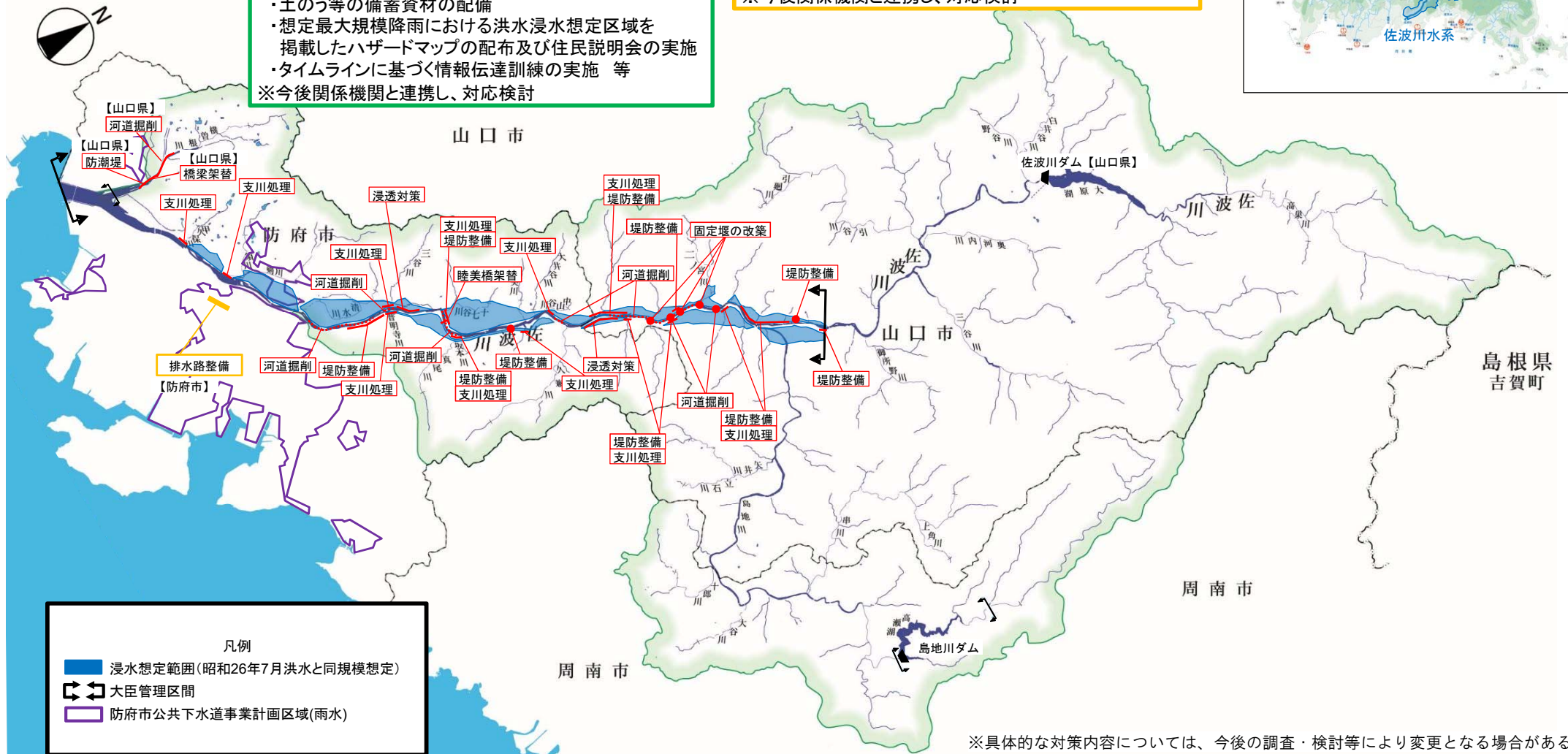
- ・土のう等の備蓄資材の配備
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を掲載したハザードマップの配布及び住民説明会の実施
- ・タイムラインに基づく情報伝達訓練の実施 等

※今後関係機関と連携し、対応検討

■流域における対策

- ・下水道等の排水施設の整備
 - ・雨水流出抑制施設設置補助制度の利用促進
 - ・既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
(関係者: 国、山口県) 等
- ※今後関係機関と連携し、対応検討

【位置図】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

河川整備計画に基づく事業促進

国・県それぞれの管理区間において河川整備計画に基づき事業を実施。

5. 河川整備の実施に関する事項

～河川工事の目的、種類、施行の場所、並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要～

佐波川水系河川整備計画

【国管理区間】

平成 26 年 5 月

国土交通省中国地方整備局

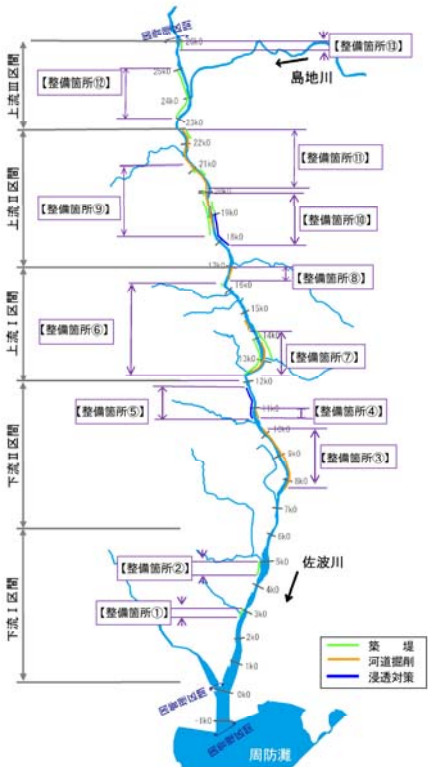


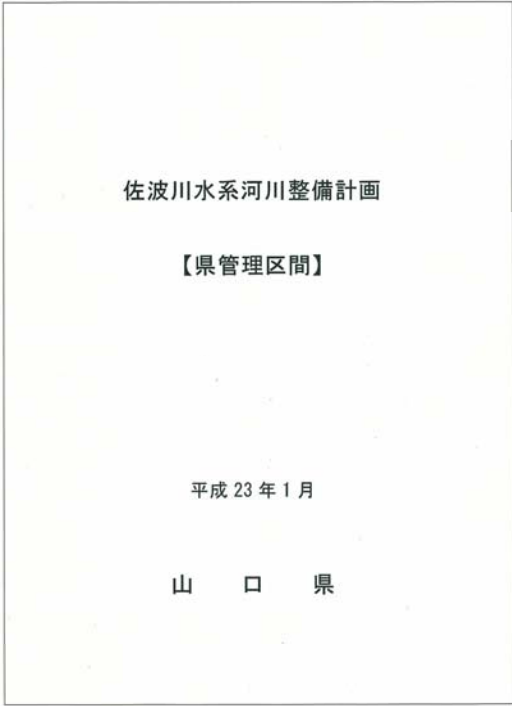
図5.1.2 堤防・河道の整備を実施する箇所

佐波川水系河川整備計画

【県管理区間】

平成 23 年 1 月

山 口 県



3.1.3 横曽根川の高潮対策

(1) 目的

横曽根川の高潮対策は、平成 11 年 18 号台風が横曽根川にとって最も危険となるルートを通じた場合に想定される高潮位に対して、高潮沿岸を整備し、浸水を防止あるいは軽減します。

(2) 場所

表 3.1.2 高潮対策の整備場所

河川名	施工区間	施工延長	計画堤防高 (T.P.m)	実施内容
横曽根川	J R 山陽本線橋梁～ 国道横曽根橋下流より約 290m	約 970m	5.00～4.50	高潮堤防整備

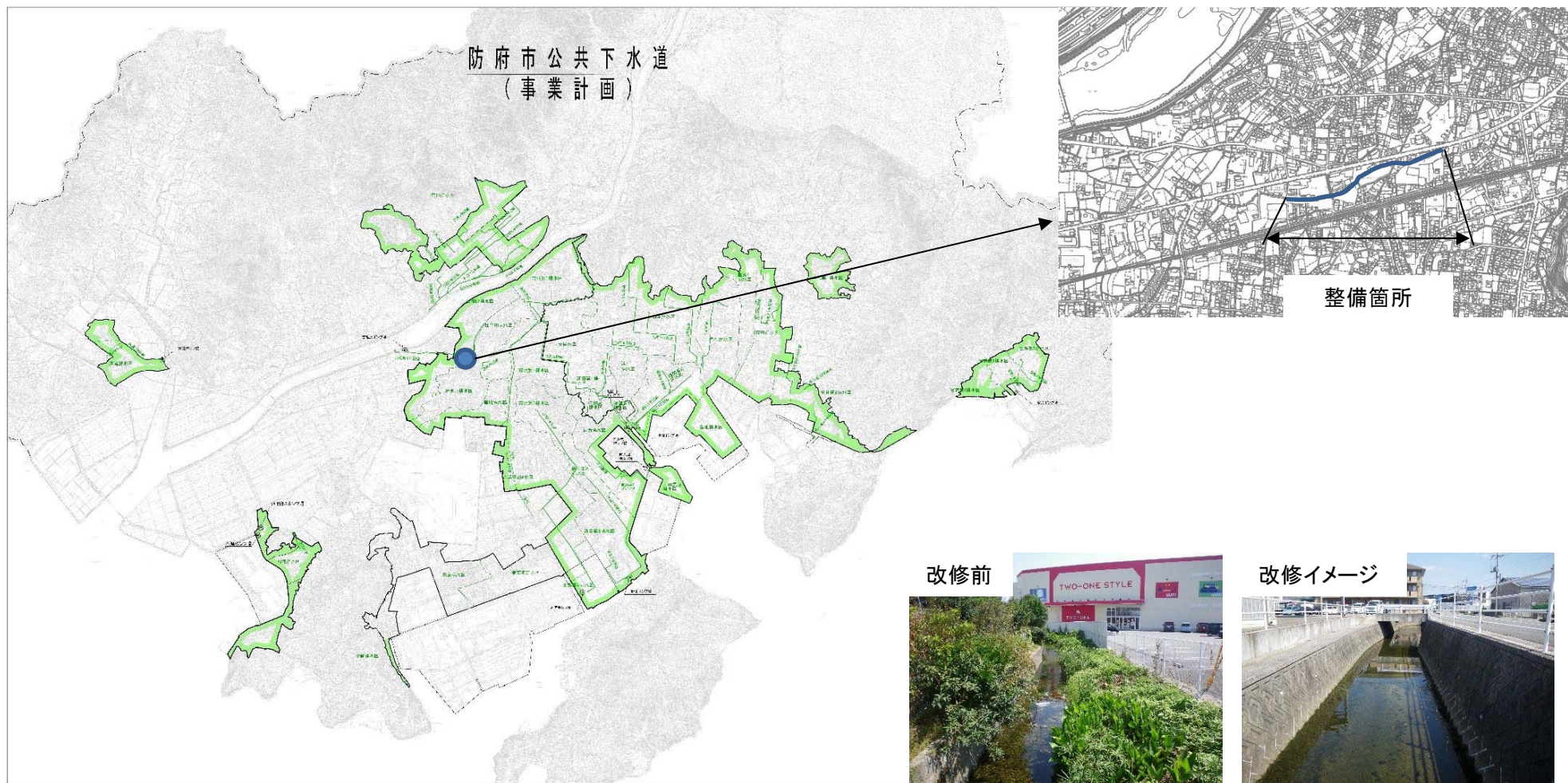
注) T.P. : 東京湾中等潮位 (2000 年以前の測地結果による表示)



図 3.1.5 高潮対策区間

■下水道等の排水施設の整備

防府市公共下水道事業計画に基づき排水路の整備を促進



■雨水流出抑制施設設置補助制度の利用促進

浸水被害の軽減を図ることを目的に雨水の流出を抑制する対策の利用促進を実施。



[文字サイズ](#)
[拡大](#)
[標準](#)

[背景色](#)
[白](#)
[黒](#)
[青](#)
[読み上げる](#)

[はじめての方へ](#)
[サイトマップ](#)
[Foreign Language](#)
[山口市防災メール](#)

[防災情報](#)
[休日当番医情報](#)

[ホーム](#)
[くらしの情報](#)
[しごとの情報](#)
[観光情報](#)
[市政情報](#)

[検索コーナー](#)

[検索](#)
[組織でさがす](#)
[カレンダーでさがす](#)
[地図でさがす](#)

[現在地](#)
[トップページ](#)
[分類でさがす](#)
[くらしの情報](#)
[上下水道、簡易水道](#)
[下水道](#)
[山口市雨水流出抑制施設補助制度](#)

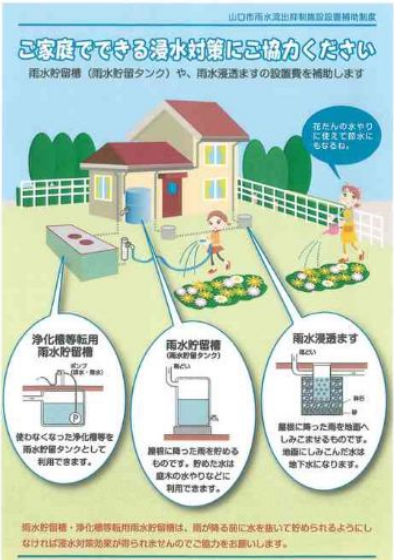
山口市雨水流出抑制施設補助制度


[印刷用ページを表示する](#)
[掲載日：2020年4月1日更新](#)
[Tweet](#)

令和2年度の補助金申請の受付を4月1日から開始しました。近年、局地的な集中豪雨が増加する中、都市化の進展に伴い、降雨時には一度にたくさんの雨水が水路や河川へ流れ出るようになり、浸水被害が発生しています。

山口市では、浸水被害の軽減を図るため、雨水を貯めたり地下に浸透させることで雨水の流出を抑制する取り組みを進めており、各家庭において、雨水貯留タンクや雨水浸透ますを設置される方を対象にその経費の一部を補助しています。

※雨水貯留タンクに貯めた雨水は庭木の水やりなどに利用できます。また、雨が降る前には水を抜いて貯められるようご協力をお願いします。



この家庭でできる浸水対策にご協力ください
雨水貯留（雨水貯留タンク）や、雨水浸透ますの設置費を補助します

花壇の水やりに役立ててもらいます。

浄化槽等転用雨水貯留槽
使わなくなった浄化槽等を雨水貯留タンクとして利用できます。

雨水貯留槽（雨水貯留タンク）
屋根に降った雨を貯めるものです。貯めた雨水は庭木の水やりなどに利用できます。

雨水浸透ます
屋根に降った雨を地面へしみこませるものです。地面にしみこんだ雨水は地下水になります。

雨水貯留槽・浄化槽等転用雨水貯留槽は、雨が降る前に水を抜いて貯められるようにしなければ浸水対策効果が得られませんのでご協力をお願いします。


[見つからないときは](#)


[よくある質問](#)


[アンケート実施中](#)

■既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築

- ◆ 緊急時において利水ダムを含む既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針（令和元年12月）」
- ◆ 中国地方の一級水系では**全ての既存ダム（102ダム）**を対象に**治水協定を令和2年5月29日までに締結**
- ◆ 令和2年の出水期から新たな運用を開始。

【現状と課題】

- ・全国の稼働中のダム1,460箇所
- ・有効貯水容量は約180億m³
- ・洪水調節のための貯水容量は約3割（約54億m³）
- ・利水容量の洪水調節への活用が今後の課題

水系	ダム数	有効貯水容量 (百万m ³)	利水容量 (百万m ³)	洪水調節容量 (百万m ³)
1級	947	15,097	10,602	4,495
2級	513	2,967	2,068	899
合計	1,460	18,064	12,670	5,394

《 》：有効貯水容量に占める割合

【現在の状況】

(1) 治水協定の締結

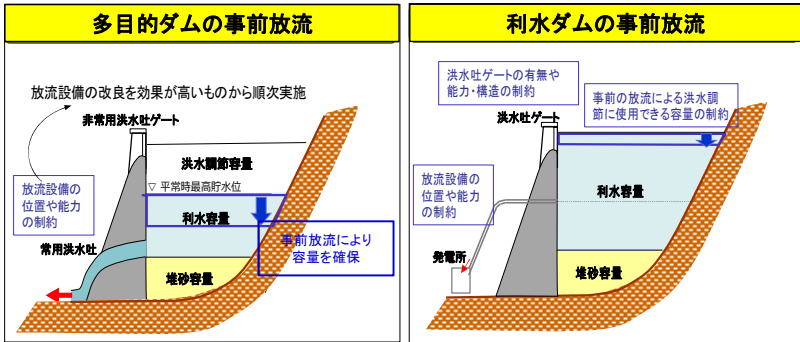
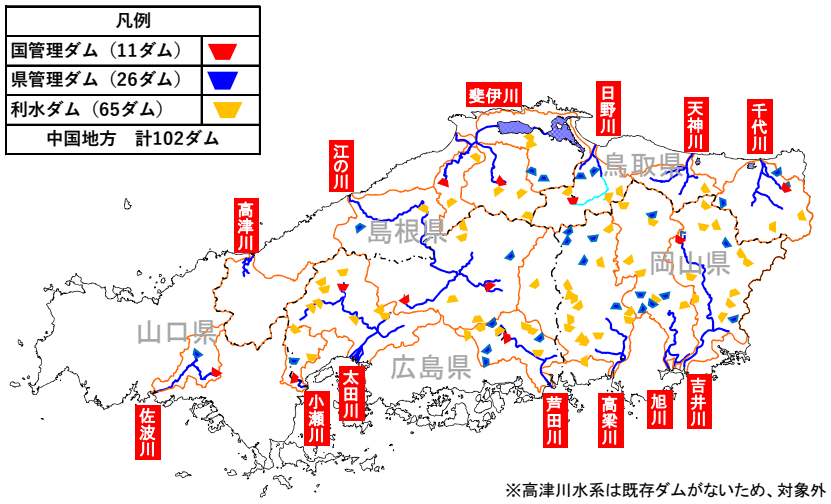
管内12の一級水系を対象に、水系毎に事前放流の実施方針等を定めた治水協定を5月29日に締結。

(2) 河川管理者とダム管理者との間の情報網の整備

各ダムのリアルタイムデータを国土交通省（地方整備局等）に集約し、適宜関係者間で共有。

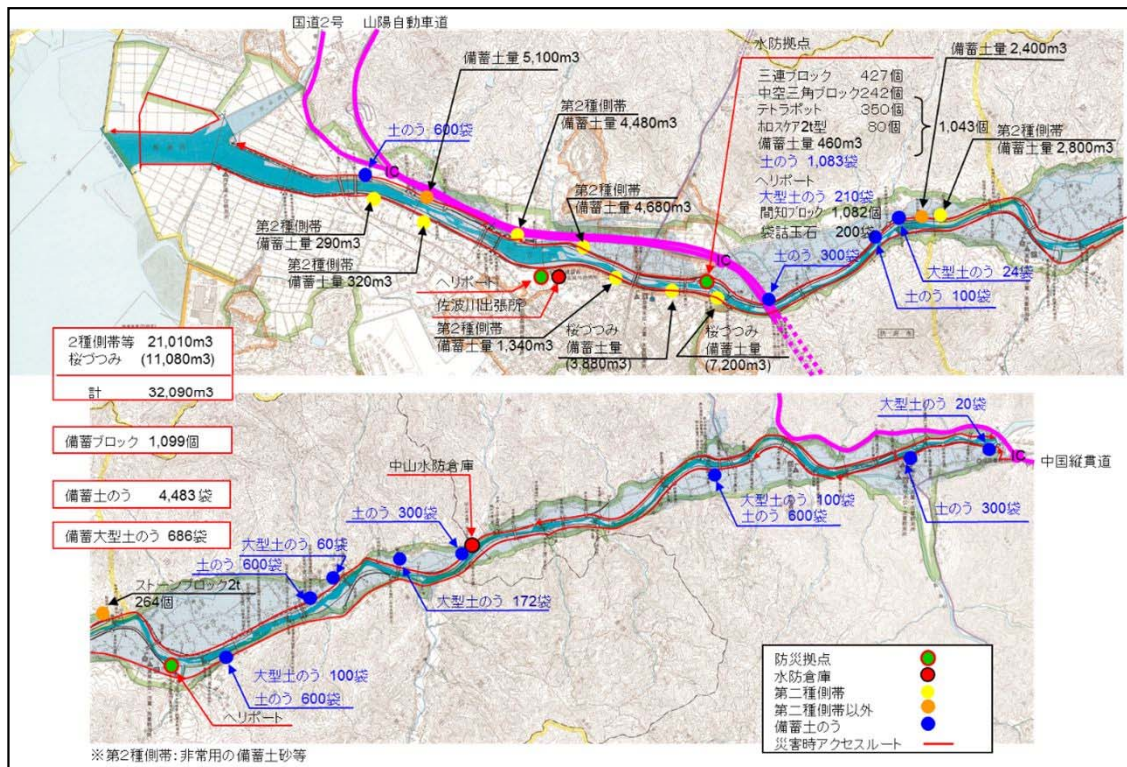
(3) 工程表の作成

ソフト対策及びハード対策（放流施設の増強等）を有効に組み合わせた工程表を、水系毎に作成済み。



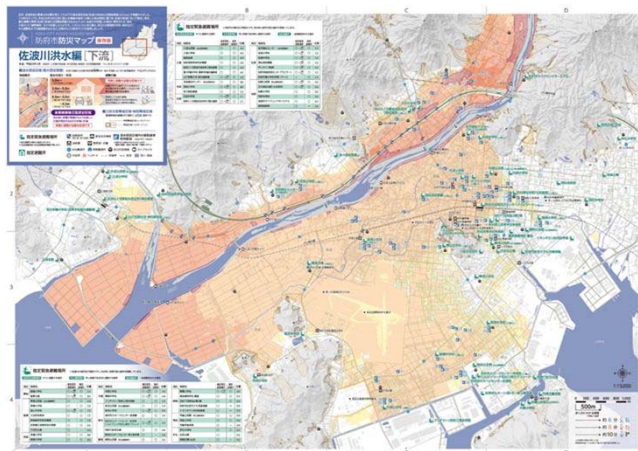
■土のう等備蓄資材の配備

土のう等の水防備蓄資材を配備し、浸水に備える対策を実施。

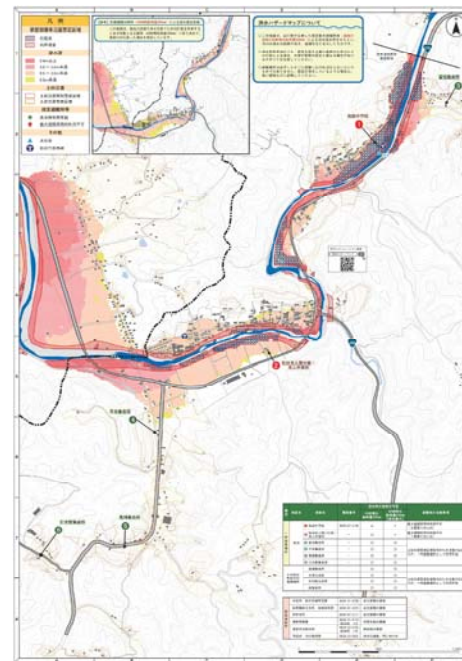


■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を掲載したハザードマップの配布及び住民説明会の実施

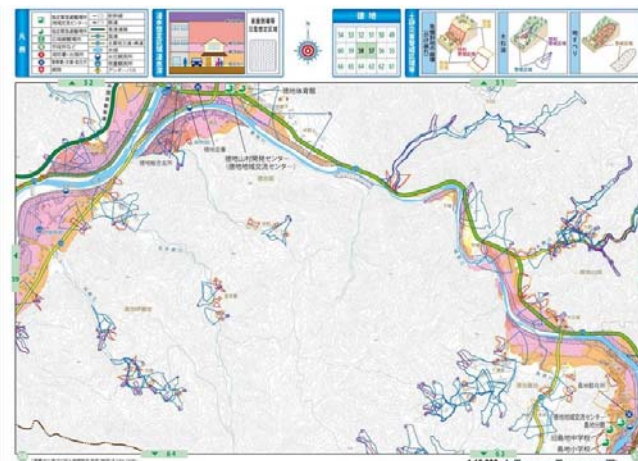
浸水想定区域図に基づきハザードマップを作成。適宜住民説明会を実施。



防府市ハザードマップ



周南市ハザードマップ



山口市ハザードマップ



住民説明会の状況



水防技術の向上・継承に努めるとともに、平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、関係機関及び地域住民の参加のもと、行政・住民・企業等の各主体が水害リスクに関する知識と心構えを共有し、水害による被害の軽減を図ることを目的として、水防工法訓練・情報伝達訓練・救出救護訓練等を中心とした実践的な訓練を実施。

この訓練においては、すでに作成している「避難に着目したタイムライン」に沿って行い、今年度作成した「社会全体で減災に取り組むことを目的としたタイムライン」の要素も一部取り入れ実施している。

令和元年度 佐波川総合水防演習 ～タイムラインに沿った実践的な訓練シナリオ2/2～

気象・水象情報
(下関地方気象台・山口県1級気象事務所)

山口河川国道事務所

防府市

報道機関・住民

演習内容
演習時間 訓練名及び訓練内容

18:洪水手帳第3号(氾濫危険情報)
19:洪水情報フッシュ型配付訓練
19:メディアを連れた河川情報発信訓練
(国土交通省が河川に上陸し、危険の状況を報告)

20:水防工法演習(演習役員)
21:住民への情報伝達訓練(避難勧告)
→多量に、より情報発信
→緊急告知システムによる情報発信
22:メディアを連れた河川情報発信訓練
→防府市職員が河川のニュース番組に出演し、専門的視点で解説
23:住民避難訓練(その3)
24:住民避難、避難誘導訓練、住民伝達訓練
→古墳地区、閑田地区の住宅に実際に避難訓練を実施
→避難訓練の状況と上より確認
25:TEC-FORCE派遣、練水ポンプ専任訓練
26:TEC-FORCE派遣、練水ポンプ専任訓練
→山口佐渡川川上管理所より山口市長へ情報提供(ホットライン)
27:上からの被災状況収集訓練、西倉伝達訓練
→国交省へ「安全な川」による情報収集訓練
28:気象情報提供訓練(ホットライン)
→国交省・市長が防府市へ情報提供(ホットライン)
29:出水情報提供訓練(ホットライン)
→山口河川事務所が防府市長へ情報提供(ホットライン)
30:避難指示(緊急)
31:決壊の通報
32:洪水手帳第4号(氾濫発生情報)
33:防災決壊情報収集訓練、西倉伝達訓練
→被害・被害面確認装置による被害伝達訓練
34:洪水情報フッシュ型配付訓練
35:フロー訓練
→TEC-FORCE訓練による全土型型ドローンを活用した被災状況調査
以下、特別訓練
36:洪水手帳第5号(氾濫発生情報解除)
37:水防警報第5号(解除)

18:洪水手帳第3号(氾濫危険情報)
19:洪水情報フッシュ型配付訓練
20:水防工法演習(演習役員)
21:住民への情報伝達訓練(避難勧告)
22:メディアを連れた河川情報発信訓練
23:住民避難訓練(その3)
24:住民避難、避難誘導訓練、住民伝達訓練
25:TEC-FORCE派遣、練水ポンプ専任訓練
26:TEC-FORCE派遣、練水ポンプ専任訓練
27:上からの被災状況収集訓練、西倉伝達訓練
28:気象情報提供訓練(ホットライン)
29:出水情報提供訓練(ホットライン)
30:避難指示(緊急)
31:決壊の通報
32:洪水手帳第4号(氾濫発生情報)
33:防災決壊情報収集訓練、西倉伝達訓練
34:洪水情報フッシュ型配付訓練
35:フロー訓練
36:洪水手帳第5号(氾濫発生情報解除)
37:水防警報第5号(解除)

18:洪水手帳第3号(氾濫危険情報)
19:洪水情報フッシュ型配付訓練
20:水防工法演習(演習役員)
21:住民への情報伝達訓練(避難勧告)
22:メディアを連れた河川情報発信訓練
23:住民避難訓練(その3)
24:住民避難、避難誘導訓練、住民伝達訓練
25:TEC-FORCE派遣、練水ポンプ専任訓練
26:TEC-FORCE派遣、練水ポンプ専任訓練
27:上からの被災状況収集訓練、西倉伝達訓練
28:気象情報提供訓練(ホットライン)
29:出水情報提供訓練(ホットライン)
30:避難指示(緊急)
31:決壊の通報
32:洪水手帳第4号(氾濫発生情報)
33:防災決壊情報収集訓練、西倉伝達訓練
34:洪水情報フッシュ型配付訓練
35:フロー訓練
36:洪水手帳第5号(氾濫発生情報解除)
37:水防警報第5号(解除)

18:洪水手帳第3号(氾濫危険情報)
19:洪水情報フッシュ型配付訓練
20:水防工法演習(演習役員)
21:住民への情報伝達訓練(避難勧告)
22:メディアを連れた河川情報発信訓練
23:住民避難訓練(その3)
24:住民避難、避難誘導訓練、住民伝達訓練
25:TEC-FORCE派遣、練水ポンプ専任訓練
26:TEC-FORCE派遣、練水ポンプ専任訓練
27:上からの被災状況収集訓練、西倉伝達訓練
28:気象情報提供訓練(ホットライン)
29:出水情報提供訓練(ホットライン)
30:避難指示(緊急)
31:決壊の通報
32:洪水手帳第4号(氾濫発生情報)
33:防災決壊情報収集訓練、西倉伝達訓練
34:洪水情報フッシュ型配付訓練
35:フロー訓練
36:洪水手帳第5号(氾濫発生情報解除)
37:水防警報第5号(解除)

今後のスケジュール

佐波川流域治水協議会
令和2年9月

令和2年8月27日

協議会設立

協議会設立（書面確認・承認）



各機関の施策抽出

令和2年9月

第1回協議会

各機関の取組共有
プロジェクト（中間とりまとめ）の承認



公表



令和2年10月（予定）

第2回協議会

各機関の情報共有・意見交換



各機関の施策検討・抽出

令和3年1～3月

第3回協議会

各機関の取組共有
R2プロジェクトの承認



公表



フォローアップ